

「この人 75」

宮森 輝 74歳 愛媛県

編集部 俳句を始められたきっかけは？

宮 森 NHKの「わたしの文芸」です。愛媛で「糸瓜」の主宰をされていた森薫花壇先生の選に入ったのがきっかけです。

編集部 滑稽俳句を始められたきっかけは？

宮 森 八木会長が滑稽俳句協会を立ち上げられたのがきっかけですが、私も、以前から俳句の根本には滑稽があると思っていました。

編集部 俳句における「滑稽」とは？

宮 森 俳句の基本には、だじゃれも含めて楽しさ、可笑しさ等々、いわゆる「ユーモア」がありますが、それではないかと考えています。

編集部 滑稽俳句を続けていて良かった事は？

宮 森 季語さえ入っていれば、あとは自由に表現が出来、たまに思いがけない面白い句が出来ると、充実感がありますね。

編集部 滑稽俳句を作るコツは何でしょうか。

宮 森 いわゆる、ブラックユーモアも含めて、ユーモアを上手に引き出す事だと思います。

【代表句】

八重霞彼の世この世は紙一重
早口の小鳥のおしゃべり聞きとれず
大きくさめして商談のこわれけり
喉ぼとけ見せて白酒花に酌む
燕去り村に無傷の空戻る